
名探偵と僕

佐藤涼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

名探偵と僕

【Nコード】

N6131E

【作者名】

佐藤涼

【あらすじ】

主人公の僕は“一応”何処にでも居る普通の中学生。しかし主人公は（特に家族が）色々訳有りで、自称探偵の事務所で働く事になっってしまう。しかも、名探偵事務所で働く人達は、一癖も二癖もありそんな変人共。変人共のいで主人公は色々散々な目に遭う。ある意味強運の主人公と変人達の何だかよく分からない（大丈夫？）コメディですー。ンあ。でも、ウケる所無いかもね……（おい）

意味深な探偵

（ブローグ）

今頃になってやっとフリーズしてた頭が動き出す。機械音で表現するなら『ブローグ』と音を立てて。

ボクハイマナジンセイノセンタクヲ、マチガエテシマッタヨウナキガスル。チナミニ、コレハウソデハナイ。カナシイケドジジツダ。

何でカタカナだって？ ま、雰囲気を醸し出す為ですよ。

でも、“醸し出す”って言葉、使う状況合ってるよね？ 僕はP Cの変換機能に頼ってる部分があるので、変換が合ってるか分からない時があるから心配だ。

とりあえず、話を戻そう。

さっき僕がわざわざ（雰囲気を醸し出す為に）カタカナで書いた言葉は、普通はまだ20年も生きてない僕みたいな若者が言うセリフではないだろう。でも、今の僕は生温い言葉で表現出来る程の、甘い所に居る訳ではないのだろう。

まず、僕は何故か知らない場所で寝てたらしい。何故かは分からない。つか、ここは何処だろう。さっきは何があったんだ。

「起きるアルよ！！ 今日から君も探偵になるアルね！！」

そう。突然僕は『アル』を語尾に付ける変な人から探偵にされてしまった。

え？ 『さつさと断れよ。そんな基地外はほっとけ』って？ し
かし、僕は断れない様な状況に居る。これは……過言ではない。

第1話：学校での悲劇。その1。

第1話 僕に襲い掛かった悲劇（学校で1）

今日も僕は何時も通りに学校へ行つた。この時はこの先の悲劇の事等何も分からなかったが、後から思えば悲劇はここから始まった様な気がする。

学校に着いた。僕は何となく時計を見た。8時20分 遅くも無ければ、早くも無い時間帯だ。この時間帯に来る生徒が多いらしい。学校新聞に載つてた。

でも、今日は何故か静かだ。しかも、下駄箱には人の気配がしない。何で？ 誰も居ない訳無いじゃん。でも、やっぱり誰も居ない。どーしてだろう。もしか、これはドッキリ？ 確か『ドッキリ部26時』っていうドッキリコーナーが在ったよなあ。そのドッキリコーナーが僕達の学校に来たかな？ いや、ここは私立だ。テレビに出るのを禁止してるのに、テレビのドッキリをここでやったら、校則と学校の行動が矛盾してると思う。

じゃあ、何故だろう。

僕は靴を履き替えて教室へ行つた。教室に行けば何か分かるかもしれない。

教室は誰も居なかった。居ないどころか教室に鍵がかかつてる。

勿論ドアは開かない。

謎が深まるばかりだ。何で皆居ないんだろうか。集団でボイコット？ それとも……と、僕は色々考えてみた。でも、謎のままだ。

だいたい、テレビのドッキリはまずないだろうし、僕以外の皆がボイコットしたとかも考えられない。普通そつという事をやるうと誘つたら、最低でも1人位はやりたがらない奴が居るハズ。反对者零は普通は在り得ない。

うーん。何故だろうか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6131e/>

名探偵と僕

2010年11月14日02時47分発行